

令和元年度5月補正予算の概要

京 都 市

今回の補正予算は、国の補助事業を活用し、外国籍住民への相談体制の拡充や高齢者福祉施設への非常用自家発電設備の整備に対する助成等を行う。また、学校体育館の耐震改修などに要する経費を補正する。

1 補正予算の規模

(単位：百万円)

会 計 名	補正前の規模	補 正 額	補正後の規模
一般会計	794,413	237	794,650
今回補正しない特別会計	927,891	-	927,891
合 計	1,722,304	237	1,722,541

2 補正予算の内容 <237,000千円>

<一般会計 237,000千円>

(総合企画局)

京都市多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮称）の設置・運営

13,000千円

国の新たな補助金（外国人受入環境整備交付金）を活用して、外国籍住民への生活相談等に関する一元的な窓口（ワンストップセンター）を国際交流会館に設置し、通訳・相談事業の拡充を図る。

(文化市民局)

Living History in 二条城 ～生きた歴史体感プログラム～ 24,000千円

国の新たな補助金（Living History（生きた歴史体感プログラム）促進事業）を活用し、歴史的な出来事や文化を再現する事業を実施することにより、来城者が二条城の歴史や文化への理解を深める機会を創出する。

(保健福祉局)

高齢者福祉施設非常用自家発電設備整備助成 68,000千円

高齢者福祉施設の防災・減災対策を推進するため、国の新たな補助金（高齢者施設等の非常用自家発電設備整備事業等）を活用し、社会福祉法人等が実施する非常用自家発電設備の整備に対する助成を行う。

広域型特別養護老人ホーム整備助成 2,000千円

債務負担行為設定（令和2年度23,000千円）

広域型特別養護老人ホーム整備に対する助成について、事業者選定に伴い、当初予算（箇所を特定せず定員100人分の経費を計上）で不足する経費と債務負担行為を補正する。

「すないの家 太秦（仮称）」

定員 120人

場所 右京区常盤森町

助成総額 279百万円（令和元年度54百万円，2年度225百万円）

（都市計画局・教育委員会）

公共施設の緊急耐震対策 130,000千円

過去に実施した耐震診断結果に不備があったことが判明したため、公共施設の緊急耐震対策に要する経費等を補正する。

・学校体育館耐震改修 100,000千円

債務負担行為設定（令和2年度64,000千円）

過去に実施した耐震診断のうち、一般財団法人 建築研究協会が実施した学校体育館に係る耐震診断結果に不備があったことが判明し、改めて診断を実施したところ、複数の学校で耐震性が不足していたため、速やかに必要な耐震改修を行う。

（対象施設）大原小中学校，二条中学校，桂中学校，日吉ヶ丘高校，
塔南高校，元月輪小学校，元梅逕中学校

（改修期間）令和元年度～2年度

・耐震診断書再点検 30,000千円

上記事業者による耐震診断結果の一部に不備があったことが判明したことを踏まえ、他の事業者が実施した耐震診断結果についても、耐震診断書の再点検を実施する。

3 一般会計補正予算の財源内訳

京都市多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮称）の設置・運営13
 高齢者福祉施設非常用自家発電設備整備助成68
 学校体育館耐震改修1

(単位：百万円)

項目	補正額	内 容
特定財源	207	国庫支出金82, 繰入金24, 市債101
一般財源	30	財政調整基金
合計	237	

耐震診断書再点検30

Living History in 二条城
 ～生きた歴史体感プログラム～24

広域型特別養護老人ホーム整備助成2
 学校体育館耐震改修99

<参考> 財政調整基金の状況

(単位：百万円)

平成30年度末 残高見込額 (A)	令和元年度中			令和元年度末 残高見込額 (A+B-C)
	積立見込額 (B)	取崩額 (C)		
		当初予算	5月補正	
3,006	(※) 3	1,860	30	1,119

※ 積立見込額については、運用益のみ計上

